

令和8年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校

第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和8年6月9日（火） 午前10時～12時

2 場 所 静岡県立東部特別支援学校伊東分校
(〒412-0055 伊東市岡 1270-1)

3 出席者

＜運営協議会員＞ 福西 正美 氏（伊東市立さくら園園長）【コーディネーター】
岩崎 陽子 氏（伊東市立伊東小学校 PTA）
安藤 健雄 氏（湯の花共栄会役員）
伊藤 秀雄 氏（民生委員（主任児童委員））
佐々木 剛 氏（元特別支援学校教員）【欠席】
飯島 杏美 氏（東部特別支援学校伊東分校 P T A 会長）

＜学 校＞ 佐々木 雅則（校長）
板垣 久 （副校長）
神戸 正輝 （小学部主事）
内田 香津子（中学部主事）

4 日 程 (1) 委嘱状伝達・出席者自己紹介
(2) 令和8年度伊東分校の学校経営についての概要説明
ア 学校経営計画と取組状況について（副校長）
イ 各学部の経営について（部主事）
ウ 質疑・提言

校内参観（10:40～11:00）
(3) 質疑・提言
(4) 学校運営協議会及び学校関係者評価委員会等について
(5) コンプライアンス（法令順守）の取組について
(6) 質疑・提言

5 議事内容

(1) 委嘱状伝達・出席者自己紹介

- ・はじめに本校校長より会員に委嘱状を手渡した。その後自己紹介を行う。

(2) 令和8年度伊東分校の学校経営についての概要説明

ア 学校経営計画と取組状況について（副校長）

- ・副校長より令和8年度学校経営計画についての説明を行う。

今年度の重点取組目標は2つある。1つ目は地域交流である。令和6年度以降、小学部は伊東小学校と、中学部は北中学校との直接交流を、継続的に行うことができている。今年度は、学校間交流だけでなく、伊東分校周辺の岡地区との地域交流を推進していきたい。新たな校地での地域とのつながりを考えていきたい。

2つ目は校内研修の充実である。令和6年度から3か年計画で、校内研修に取り組んできて、今年度がまとめの年である。児童生徒の実態把握、指導方法の充実、そして評価方法の確認という流れを踏まえて、3年間の研修をまとめ、教員の指導力の向上に努めていきたい。

イ 各学部の経営について（部主事）

- ・（小学部）本年度の児童数は28名で、12学級で運営を行っている。一日の活動の流れについては、登校後、日常生活の指導として連絡帳を出したり、着替えをしたりしている。生活単元学習では、国語、算数、理科、社会など教科の学習を基に、行事単元や校外学習を行っている。木曜日の4時間目に行っているニコニコタイムは、縦割り活動を行い、様々な学年の友達と交流を図っている。
- ・（中学部）本年度の生徒数は16名で、6学級で運営を行っている。小学部と同様、日常生活の指導や生活単元学習に取り組んでいる。中学部から作業学習にも取り組んでいる。縫製班、ビーズ班、紙すき班の3班あり、週2回、縦割りグループで学習に取り組んでいる。また引き続き、旭山学習にも取り組んで、地域の方々から学ぶ機会を設定している。

ウ 質疑・提言

- ・（安藤氏）給食を提供しているとのことだが、アレルギー対応や、児童生徒の好き嫌いへの対応について教えて欲しい。
- ・（神戸）アレルギー対応は、「取り組みプラン」に基づいて対応している。ペースト食などの食形態にも対応している。好き嫌いについては、特別に配慮はしていない。少しずつ食べられるようになってほしい。

学校運営説明後、全運営協議会員より令和8年度伊東分校の学校経営について承認いただいた。

校内参観（10:40～11:00）

(3) 校内参観後の質問や感想など

- ・(岩崎氏) 実態に応じて先生たちが寄り添っていた。子どもたちが楽しそうに取り組んでいた。学年が上がるにつれて落ち着いていた。視覚情報が分かりやすい。電車、バス等の教材が工夫されていて楽しかった。
- ・(安藤氏) 去年よりも落ち着いた様子が見られた。1・2年生仲良く活動していた。
- ・(伊藤氏) 教員数が手厚く、先生方一人一人が、授業教材を工夫して、優しく接している姿が見られた。小→中→高への結び付けた指導、教育がされている。ICTも活用されており、実物と映像を組み合わせることで、子ども達の意欲を高める工夫がされていた。手作りのバスや改札は印象に残り、大人でも魅力を感じた。中学部は、5人くらいのグループで3年間で全ての作業を体験できるのがよい。どの作業も集中力、忍耐力が必要だと感じた。
- ・(飯島氏) 自分の子が、小学部で過ごしたことを思い出し、懐かしく感じた。中学部では、就労を見据えた授業をするので将来のビジョンを描きやすい。
- ・(福西氏) 手作り教材がすごい。さくら園を卒園した子たちが、みんな座って学習している姿に関心した。

(4) 学校運営協議会及び学校関係者評価委員会等について

2月に行われる第4回の学校運営協議会は、学校評価者委員会として開催することと、1年間の学校の取組を皆様に説明をして、学校関係者評価委員会として評価をいただきたいと説明を行った。

(5) コンプライアンス（法令順守）の取組について

副校長より、令和8年度の不祥事根絶研修について説明を行った。

- ・(安藤氏) 職員、保護者間のトラブル対策は何かありますか。
- ・(神戸) 毎日連絡帳でのやり取りを行い、学校での様子をお伝えしている。何か問題が生じたときは、必ず、保護者へ連絡を入れるようにしている。
- ・(飯島氏) 小さな怪我でも連絡をくれるのでありがたい。
- ・(岩崎氏) 些細なことでも、連絡をしてくれて素晴らしいと感じた。

最後に副校長よりお礼のあいさつを申し上げて閉会となった。